

買い物支援から広がる 地域のつながり

青森県八戸市 是川新鮮あおぞら市





青森県八戸市の郊外にある是川地区では、平成30年に地域唯一のスーパーが撤退し買い物弱者対策が必要となった。そこで地区の二つの連合町内会が中心となり、令和元年に産直販売の「是川新鮮あおぞら市」(代表:下館敏さん)を立ち上げた。商店の空き店舗を拠点に毎週金土日の3日間、朝9時から午後3時まで開店し、買い物のみならず、地域コミュニティの中心として欠かせない存在になっている。

是川新鮮あおぞら市(以下、あおぞら市)の朝は早い。朝7時、あおぞら市の事務局を担う荒屋敷さんは、卸売市場に隣接した八戸中央青果内にある(株)フレッシュエイトに向かう。レタス、人参、大根など、消費量の多い野菜を中心に事前注文した品物を軽トラに積み込むと、中心市街地から南へ約7km、20分ほどかけて是川団地に運ぶ。

あおぞら市のスタッフは、搬入された商品に手早く値札シールを張り付けていく。その傍らでは、近隣の農家をはじめ、福祉施設、豆腐店、パン店、水産加工業者などから続々と納品があり開店まで忙しい。朝9時の開店を迎える頃には、小さな店舗の棚はバラエティに富んだ品物でいっぱいになった。店舗の前には、天ぷら、煮たこなどの露店も並び、空腹を刺激する。

ある農家の方は「小規模多品種で生産しているので、市場に出荷できなくても、あおぞら市は自分のペースで納品できるので助かる」と話す。長いもので2m近くにもなる「秋田フキ」などの伝統野菜をお目当てに来るお客さんもいるようだ。

あおぞら市の来客は車を運転しない高齢者が多く、徒歩や自転車来店する。たくさん買い物をした方にはスタッフがお介添し、商品を玄関先まで運び入れる。今後の検討課題として、電話やFAXによる注文と自宅への配達も考えている。

あおぞら市のある是川団地は、昭和40年代に造成がはじまり、昭和53年の5537人をピークに人口減少が続き現在は半数以下。平成30年には地区唯一のスーパーが撤退した。こうした状況を受け、市の委託を受けた高齢者支援センターによる圏域ケア会議が開かれ、町内会、民生委員、福祉施設職員、行政などの関係者が話し合った。「買い物ができる、みんなが気軽に集まって話ができる場所が必要だ」「是川で採れる新鮮な野菜を地元の人に届けたい」。そこで、是川地区の二つの連合町内会「是川団地町内連合会」「是川地区振興会」が直売所の開設に立ち上がった。

でも、どうしたら実現できるのか。実施の主体は？資金は？場所は？協力農家の募集は？連合町内会のメンバーは店舗運営の経験がない。開設に向けて暗雲が漂った。

「まずはやってみよう」と連合町内会のメンバーは地元農家を1軒ずつ訪ね「あおぞら市」の理解を得て、野菜出荷賛同者10軒の協力を得る。あおぞら市の入会の条件や販売手数料を決め、立ち上げの資金は二つの連合町内会からの助成で賄うこととした。運営スタッフは住民のボランティア。手探りで一人一人ができることを覚えていった。こうして、スーパーの閉店から約1年後、令和元年7月12日にあおぞら市の立ち上げを実現した。開設当初は野外テントで行っていたが、空き店舗を借りてメンバーが手作りで改装し、通年開催となっている。

あおぞら市は買い物支援に加えて、住民の出会いや交流の場としても欠かせない存在だ。令和3年7月からは、あおぞら市に隣接した空き店舗を改装して「憩いの場」を新たに立



ち上げた。憩いの場を担当する三上さんは「住民の皆さんは気軽に話できる場を望んでいる」という。金土日を通じて多くの住民が訪れ、三上さんが淹れるコーヒーに癒される。憩いの場では、近隣の福祉施設の協力のもと「よろず相談承り所」も開設している。地元の福祉施設から当番制で担当者に来ており、血圧測定や健康相談から生活の困りごとまで何でも気軽に相談できる。時には、あおぞら市のスタッフがハチの菓の駆除や、包丁砥ぎまで対応することもあるそうだ。

なお、令和3年7月には、近隣にある是川石器遺跡を含めた「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録が決定した。是川地区では、住民と近隣の高専や大学が連携して、是川団地中央公園内のコンクリート壁面を縄文風に塗装するアートプロジェクトや、遺跡周辺を散策する「是川縄文トレイル」を是川地区の二つの連合町内会が開催するなど、人口減少に悩んでいた地域に再び活気が生まれつつある。

あおぞら市の小さな店舗は閉店の15時近くまで賑わいが続きこの日の来店客は144名になった。来店客やスタッフ、生産者が入り交じり、野菜の名前や作り方や食べ方など会話が途切れることがない。八戸には日本最大と言われる館鼻岸壁朝市があるなど、お互いにコミュニケーションを取りながら買い物をする朝市文化が根付いていることもあるのだろう。活気にあふれるあおぞら市の時間を楽しんでいるように見える。あおぞら市から広がる地域のつながりを大切にしたい。スタッフをはじめ、地域住民、生産者の方の一致した思いだ。

【連絡先】

是川新鮮あおぞら市(金土日・9時～15時)
Tel 0178-96-2280